

## 留萌市 校務DX計画

留萌市では「留萌市 ICT 整備計画」を策定し、北海道校務支援システムの活用をはじめ学校のセキュリティ対策を強化するとともに、文部科学省の示す「令和の日本型学校教育」の構築に向けた ICT 環境整備方針を定めています。

校務 DX 化に係るこれまでの取組としては、仮想化端末の採用による校務系のクラウド化及び学習系を各教師が 1 台の端末で完結する環境の整備。教育に特化したセキュリティポリシーの策定など、利便性とセキュリティの双方で対応してきたところです。

当計画では「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、更なる校務 DX 化のため次に掲げる事項を示し、重点的に推進してまいります。

### ・校務系・学習系ネットワークのゼロトラスト化

現在、教育ネットワークは児童生徒の個人情報等を取り扱う「校務系」と児童生徒が教育活動で利用する「学習系」について、仮想化端末を採用した分離方法をとっているが、教職員の働きやすさの向上や教育活動の高度化を目指し、ゼロトラストの考え方に基づくアクセス制御によるセキュリティ対策を十分に講じた上で、校務系と学習系ネットワークの統合を検討する。

### ・各種事務手続きの見直し

学校と保護者間、学校と教育委員会間における事務手続きの見直しを行い、各種様式の変更や押印の原則廃止、ペーパーレス化等により事務処理の効率化を推進する。FAX 送受信については、電子メールで送受信が可能な場合には、電子メールへの移行を推進し、FAX の原則廃止に取り組む。